

常盤松御用邸のササラダニ類

青木 淳 一¹⁾

Jun-ichi Aoki¹⁾: Oribatid Mites of the Tokiwamatsu Imperial Villa, Tokyo

はじめに

東京都渋谷区にある常盤松御用邸のササラダニ類がはじめて調査されたのは1975年のことである。その結果は青木ほか(1976)によって発表された「皇居および常陸宮邸の土壤動物」の末尾に示されているが、当時種名まで確定されたものは22種にすぎなかった。それから27年になって再調査が行われ、筆者および新海栄一・高野光男両氏によって得られた標本を筆者が検鏡した結果、かなり多くの種を追加記録することができた。ここにはそれらをまとめて報告する。

調査時期と調査者

第1回 1975年3月11日 土壤試料採取: 常陸宮殿下, 抽出: 今立源太良

第2回 1975年4月17日 土壤試料採取: 常陸宮殿下, 抽出: 今立源太良

第3回 2004年5月20日 土壤試料採取: 青木淳一, 抽出: 青木淳一

第4回 2004年5月23日 土壤試料採取: 新海栄一, 抽出: 高野光男

エタノール中に分離抽出されたダニの標本は、すべて筆者によってプレパラート標本にされ、種の同定が行われた。

見出だされたササラダニ類の目録

*: 第3回の調査で発見された種, +: 第4回の調査で発見された種, 無印はすべて第1回, 第2回の調査で記録済みの種

カザリヒワダニ科 *Cosmochthoniidae*

1. カザリヒワダニ *Cosmochthonius reticulatus* Grandjean, 1947 +

ツツハラダニ科 *Lohmanniidae*

2. フトツツハラダニ *Mixacarus exilis* Aoki, 1970
3. ケブカツツハラダニ *Vepracarus hirsutus* (Aoki, 1961)

ハラミゾダニ科 *Epilohmanniidae*

4. オオハラミゾダニ *Epilohmannia ovata* Aoki, 1961

イレコダニ科 *Phthiracaridae*

5. ツルギイレコダニ *Phthiracarus clemens* Aoki, 1959

¹⁾ 神奈川県立生命の星・地教博物館 小田原市入生田 499
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History, Odawara-shi, Kanagawa, 250-0031 Japan
E-mail: ja-muck@ma.rosenet.ne.jp

6. ハナビライレコダニ *Hoplophorella cucullata* (Ewing, 1909) +
ヘソイレゴダニ科 Euphthiracaridae
7. ヒメヘソイレコダニ *Rhysotritia ardua* (C. L. Koch, 1941)
オニダニ科 Camisiidae
8. オニダニ *Camisia segnis* (Hermann, 1804)*
アミメオニダニ科 Nothridae
9. ハナビラオニダニ *Nothrus biciliatus* C. L. Koch, 1841 +
10. ヨコツオニダニ *Nothrus palustris* C. L. Koch, 1839
モンツキダニ科 Trhypochthoniidae
11. モンツキダニ *Trhypochthonius tectorum* (Berlese, 1896)
ツキノワダニ科 Nanhermanniidae
12. オバケツキノワダニ *Masthermannia hirsuta* (Hartman, 1949)
ジュズダニ科 Damaeidae
13. ワタゲジュズダニ *Epidamaeus fragilis* Enami & Fujikawa, 1989*
ホソクモスケダニ科 Damaeolidae
14. ヨツクボダニ *Fosseremus quadripertitus* Grandjean, 1962
クモスケダニ科 Eremobelbidae
15. ヤマトクモスケダニ *Eremobelba japonica* Aoki, 1959
イチモンジダニ科 Eremulidae
16. イチモンジダニ *Eremulus avenifer* Berlese, 1913*
ハネアシダニ科 Zetorchestidae
17. チビハネアシダニ *Microzetorchestes emeryi* (Coggi, 1898)*
ダルマタマゴダニ科 Astegistidae
18. マルタマゴダニ *Cultroribula lata* Aoki, 1961
セマルダニ科 Metrioppiidae
19. リキシダニ *Ceratoppia bipilis* (Hermann, 1804) +
イブシダニ科 Carabodidae
20. ナカタマリイブシダニ *Yoshiobodes nakatamarii* (Aoki, 1973) +

イカダニ科 Otocepheidae

21. コンボウイカダニ *Fissicepheus clavatus* (Aoki, 1959)*

クワガタダニ科 Tectocepheidae

22. クワガタダニ *Tectocepheus velatus* (Michael, 1880)

ツブダニ科 Oppiidae

23. ナミツブダニ *Oppiella nova* (Oudemans, 1902)
 24. ヒロズツブダニ *Processoppia restata* (Aoki, 1963)
 25. トウキョウツブダニ *Ramusella tokyoensis* (Aoki, 1974)
 26. サガミツブダニ *Goyoppia sagami* (Aoki, 1984) +
 27. コブヒゲツブダニ *Arcoppia viperea* (Aoki, 1959)*

ヨスジダニ科 Quadropiidae

28. ヨスジダニ *Quadropia quadricarinata* (Michael, 1885)

マドダニ科 Suctobelbidae

29. ナギナタマドダニ *Flagrosuctobelba naginata* (Aoki, 1961)

コソデダニ科 Haplozetidae

30. マルコソデダニ *Peloribates acutus* Aoki, 1961*
 31. ツノコソデダニ *Rostrozetes ovulum* (Berlese, 1908)

オトヒメダニ科 Scheloribatidae

32. コンボウオトヒメダニ *Scheloribates latipes* (C. L. Koch, 1841) +

コイタダニ科 Oribatulidae

33. サカモリコイタダニ *Eporibatula sakamorii* (Aoki, 1970)*

ハネツナギダニ科 Mycobatidae

34. マツバヤシダニ *Punctoribates punctum* (C. L. Koch, 1839)*

コバネダニ科 Ceratozetidae

35. キュウジョウコバネダニ *Ceratozates imperatorius* Aoki, 1963

フリソデダニモドキ科 Galumellidae

36. フリソデダニモドキ *Galumnella nipponica* Suzuki et Aoki, 1970

フリソデダニ科 Galumnidae

37. ハルナフリソデダニ *Pergalumna altera* (Oudemans, 1915)
 38. チビゲフリソデダニ *Trichogalumna nipponica* (Aoki, 1966)
 39. ムチフリソデダニ *Pergalumna magnipora capillaris* Aoki, 1961*

以上、4回の調査で見出だされたササラダニ類のうち、種名が確定したものは計29科39種になった。このうち、2002年の第3回の調査によって追加された種は11種、第4回の調査によって追加された種は6種であった。

採集記録の少ない種

チビハネアシダニ *Microzetorches emeryi* (Coggi, 1898) (図1)

Zetorches emeryi Coggi, 1898, p. 73, figs. 2: 7-13.

Microzetorches emeryi: Balogh, 1943, p. 75, figs. 14: 4-7; Yamamoto, 1979, p. 78, Figs. 8-13; Choi, 1986, p. 119, fig. 9.

本種は100年以上も前にヨーロッパで記載された種であるが、アジアで発見されたのは最近のことである。山本(1979)は和歌山県田辺市天神崎のウバメガシ林の腐植土壌から本種を14頭採集し、これが日本初記録となった。その後、Choi(1986)によって韓国から記録された。日本からは山本の記録以来、発見されなかったが、今回、常盤松御用邸の正門上の竹林の土壌中から1頭が採集された。体長370 μm の小型の種であるが、吻中央背面に近接して平行に走る隆起線があり、その先端にサボテン状の特異な吻毛があるのが特徴である。

良好な自然を指標する種

青木(1995)は環境の自然性の診断にササラダニ類を用いる方法を提案し、100種のササラダニ類をA群からE群までの5群に分けた。常盤松御用邸から見出だされた39種のササラダニ類の中で、もっとも自然性の高い環境を指標するA群の種としては、フトツツハラダニ、リキシダニ、ナカタマリイブシダニ、フリソデダニモドキの4種のみが該当した。邸内は都心にしては緑の多い環境である



図1. 日本第2の記録となったチビハネアシダニ *Microzetorches emeryi* (Coggi) (左) と採集場所の竹林 (右)。

が、ほかの緑地に比べて面積が小さいことが影響し、A群の種が少なかったものと推察される。

Summary

Thirty-nine species of oribatid mites were recorded from the Tokiwadai Imperial Villa in Tokyo. *Microzetorcheses emeryi* Coggi has been known in Japan only from Wakayama Prefecture and is reported now from Japan for the second time.

引用文献

- 青木淳一, 1995. 土壤動物を用いた環境診断. 沼田 真 (編): 自然環境への影響予測-結果と調査法マニュアル: 197-271. 千葉県環境部環境調整課.
- 青木淳一・石川和男・新島溪子・森川国康・中根猛彦・芝 実・鈴木正将・渡辺泰明, 1976. 皇居および常陸宮邸の土壤動物. *Edaphologia*, (14): 25-44.
- Choi, Seong Sik, 1986. The oribatid mites (Acari: Cryptostigmata) of Korea (6). *Thesis Collection Won Kwang Univ.* 20: 109-127.
- 山本佳範, 1979. ササラダニ類の日本新記録種 2 種について. 南紀生物, 21: 78-80.